

# 里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212



## いつも大変お世話になっております

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、平素から教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になりまして心より感謝申し上げます。先日の一日学校公開では、子どもたちの元気な様子を見ていただき、あたたかい励ましをいただきましたことに厚くお礼申し上げます。また、本年度より新しい事業としてスタートいたしました「さとしょう未来塾」においても様々なご支援をいただいております。多くの行事を円滑に運営することができております。

今後とも皆様のお力をいただきながら、学校教育・生涯学習のさらなる推進を図ってまいりますので、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



一日学校公開の様子

## いじめ問題への取り組みについて

平成26年度の問題行動調査で、児童生徒千人あたりの都道府県別のいじめの認知件数は、最多の県と最少の県で30倍以上の開きが生じております。また、いじめ防止対策推進法のいじめの定義では、「いじめとは、一定の人的関係のある児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、対象となる児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう」となっています。以前は、「自分より弱い者に対して一方的に」「継続的に」「深刻な苦痛」といった要素が含まれていましたが、現在の定義にそれらは含まれておりません。

これらの状況を受け、里庄町の小中学校では、いじめ問題に対して、まず未然防止の様々な取り組みにより、「いじめは、人権を侵害する決して許されない行為である」ことを指導しています。また、いじめをできるだけ早い段階で発見し、家庭と連携しながら迅速に対応し、早く解消することが大切であると考えています。そのため認知件数が増えることがありますが、学校全体で共通理解をして組織として対応しています。道徳教育や人権教育を推進したり、毎月のいじめのアンケートを行ったりしています。ご家庭でもお子様の様子をしっかりと見ていただき、気になることがありましたら学校等に相談していただき、子どもたちが健やかに過ごせますようご協力をお願い申し上げます。学校、家庭、地域で子どもたちをしっかりと見守り、子どもたちが健やかに成長できるよう全力で取り組んでまいります。

## 共に学び、共に高まる「さとみの子」 里庄東幼稚園・小学校長 谷本 知之

本校では、本年度も引き続き落ち着いた学級集団づくりに取り組むとともに、算数科を中心とした学力向上策、授業改善、学習や生活習慣の改善に努めてまいりました。その結果、少しずつ改善がみられ、一定水準以上の結果を残すことができるようになってきました。

【平成28年度 全国学力・学習状況調査（6年生を対象に実施）の結果】全国平均との比較

国語A よい 国語B よい 算数A よい 算数B よい

☆よくできていたこと・・・国語では、「漢字の読み書き」

「内容を整理して書く」

算数では、「計算問題」「単位量あたり」

学習状況調査では・・・「学校が楽しい」「授業が好き」

「家庭での学習時間が増えた」

★課題となっていること・・・国語では、「事柄を比べたり整理したりする」

算数では、「割合」

学習状況調査では・・・「ニュースに関心をもつこと」

○今後、取り組んでいくこと

国語では、整理したり、理由を付けたりして書くこと、算数では、言葉や式を使って理由を説明することを課題として取り組みます。家庭生活では、「ニュースに関心をもつ」、「ゲームやテレビの時間を減らし、家庭学習の時間を確保する」ことについて改善を図ります。効果的なものを継続しつつ、子どもたちの前向きな姿勢を大切にしながら、適切な学習アドバイスを行っていきます。

幼稚園においても、小学校の学びの土台となる心情・意欲・態度（健康・人間関係・環境・言葉・表現について）を、環境等を工夫していくことで育てていきます。



一緒に学んで、共に高まろう！

## 基礎基本を徹底し、思考力を高める 里庄西幼稚園・小学校長 松原 修

本年度4月に第6学年を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の結果は、全国平均と比較して見ると、次のとおりでした。

【平成28年度 全国学力・学習状況調査（6年生を対象に実施）の結果】全国平均との比較

国語A よい 国語B わずかに低い 算数A よい 算数B よい

☆よくできていたこと

国語では、「話す・聞く力」「言語についての知識」

算数では、「数と計算」「数量関係」

学習状況調査では・・・「きまりや約束を守る」

★課題となっていること

国語では、「書く力」「読む力」

算数では、「図形」の応用力を問う設問

学習状況調査では・・・「自分にはよいところがあると思う」

○今後、取り組んでいくこと

学力向上のために、落ち着いた学習環境を保ち、「しっかり考え、よく分かる授業」を行ってまいります。朝の学習や放課後学習を活用し、国語・算数の基礎的な学習を、さらに確実に定着できるように努めます。また、基本的な生活習慣の定着を進めるために、家庭と連携した取り組みも継続していきます。

幼稚園では、コミュニケーション力（話す力・聞く力）の育成に向けて、しっかり話を聞き、自分の気持ちや思いを言葉で伝えることを生活や遊びの中で鍛えます。本読みを好きになる子どもを育て、幅広い関心・興味をもたせます。



放課後学習の様子

## 自ら学ぶ生徒の育成をめざす

里庄中学校長 田原 直樹

本校では、①意欲をもって学習に取り組む生徒 ②思いやりと感謝の心をもつ生徒 ③心身ともに健康な生徒の育成を本年度の重点としています。特に、研究主題を「自ら学ぶ生徒の育成を目指した指導の在り方 ～魅力ある授業づくりと自己肯定感を高める集団づくりを通して～」としています。「分かった」「できた」を体感できる授業づくりに取り組むとともに、自他の感情を理解し社会性を高める学習を導入することで、落ち着いて学習に取り組める環境づくりを行っています。

【平成28年度 全国学力・学習状況調査（3年生を対象に実施）の結果】 全国平均との比較  
国語A よい 国語B よい 数学A よい 数学B よい

☆よくできていたこと

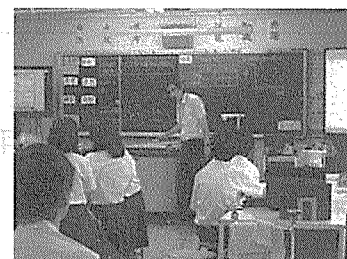
- ・国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4領域ともバランスがとれている。
- ・数学では、「数と式」「図形」がよくできている。
- ・学校のきまりを守り、人が困っている時は進んで助ける生徒が、9割程度いる。

★課題となっていること

- ・国語では、「根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」「目的に応じて文章を要約する」等、文章を読み取ったり、書いたりする力が弱い。
- ・数学では、「資料から読み取る」問題、「比例・反比例」等の関数の問題が弱い。
- ・家庭学習の時間が少ない生徒の割合が多い。

○今後、取り組んでいくこと

現在進めている「魅力ある授業づくり」に向けて、「ICT（情報機器）を効果的に使った授業」「協同学習を取り入れた授業」の研究を行い、生徒たちが意欲的に学習に取り組めるようにしています。また、SEL（社会性と情動の学習）を取り入れることで、学習の基盤となる落ち着いた学習環境をつくっていきたいと考えています。



公開研究授業

さらに、家庭学習の時間確保のため、保護者や小学校とも連携して中学校の定期テスト期間中の、「メディアコントロール週間」の取り組みをはじめ、スマホ等の利用のあり方についても指導していきます。また、宿題以外の家庭学習を推進するため、自主学习ノートや新聞のコラムを視写する「滴一滴ノート」の推奨等を通して、家庭学習の充実を図っていきたいと考えています。

【平成28年度 県学力・学習状況調査（1年生を対象に実施）の結果】 県平均との比較

国語 わずかに低い 社会 わずかに低い 数学 わずかに低い 理科 よい

☆よくできていたこと

- ・実験の結果を分析し、グラフや文章で説明することができる生徒が多い。

★課題となっていること

- ・国語、社会、数学では、基礎的な漢字の読み書き、計算等に課題がある。
- ・ふだん、1日あたり、テレビを見たり、ゲームをしたりする時間が長い生徒が多い。
- ・自己肯定感が低く、将来の夢や目的をもつことができていない生徒が多い。

現在の里庄中学校の生徒たちは、学校行事や部活動等に一生懸命取り組むことができます。また、地域の方々のご支援をいただいて、「まこもたけの栽培体験」等の体験学習に積極的に取り組んでいます。小中連携の一環として、夏休み期間中に、中学生が小学生の補充学習プリントを採点する活動も始めています。このように、地域と連携した活動を取り入れることで、自己肯定感を高める活動にも積極的に取り組んでいきます。

## 里庄町の子どもたちの学力は？（全国学力・学習状況調査の結果より）

全体としては、ここ数年、全国平均と比べて、同程度か、よい年が続いております。本年度、小学校は、国語と算数の全てが全国平均を上回りました。中学校も、国語と数学の全てが全国平均を上回りました。今後も子どもたちのよさや頑張りを的確に認め、自己肯定感を育みながら、一人ひとりの子どもがもっている力を、さらに伸ばしていくことが大切だと考えています。

○よくできているところ：漢字・計算など基礎的な内容について

★課題と考えているところ：目的に応じて文章を書いたり、説明したりすること。

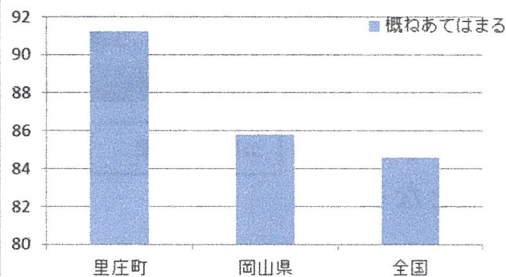
里庄町では、小学校と中学校が連携して、学力向上の重点目標を次の3点に絞って、充実を図っています。

① 基礎・基本の徹底      ②表現力の育成（書く力）      ③家庭学習の充実

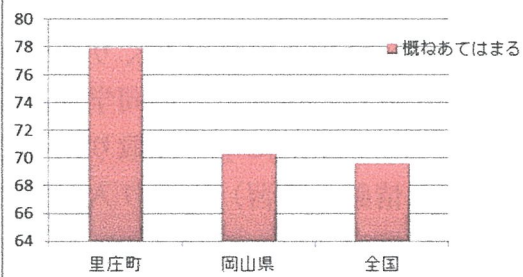
今後も、学校・家庭・地域で力を合わせ、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成に全力で取り組んでまいります。

## 里庄町の子どもたちのよさは？

人が困っているときは、進んで助けていますか。（小学校6年生）



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。（中学校3年生）



町内の小学校6年生は、岡山県や全国の子どもと比べて、人が困っているときは、進んで助けていると回答しています。また、町内の中学校3年生は、難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していると回答した子どもが多いという結果になりました。これらは、小学校、中学校ともに見られる傾向でした。進んで人に親切にしたり、失敗を恐れずに様々なことに挑戦したりすることは、自分の生活を豊かにしていく上でとても大切なことであると考えます。知徳体のバランスのとれた、たくましい子どもに育ててほしいと考えています。

～落ち着いて、規則正しい暮らしを送るために家庭でできること～

- 携帯電話やインターネットをする時間が長時間にならないようにする。そのために、家で約束を決めて、きちんと守らせる。
- 家庭学習（予習・復習も）をきちんとする。そのために、励ましの声かけをしたり、学習の様子を見たり、見守ったりして、子どもが頑張れるように励ます。

**それぞれのご家庭での、無理のない取り組みをお願いいたします。**